



発変電

No.91 June 2026 令和8年6月1日発行



500kV 架線作業
(株式会社サンテック)



6.6kV キュービクル搬出作業
(紀南電設株式会社)

安全・衛生標語 -2026年-

- ◆ 小さな異変を見逃すな 習慣つけよう安全意識
- ◆ おかしいぞ 感じたときには一呼吸 その判断が仲間を守る
- ◆ 自分のために 仲間のために 定着させよう 自主検電!
- ◆ 「たぶん・だろう」はケガのもと 早めの気付き 早めのブレーキ
みんなで作ろう 安全職場
- ◆ いつもと違う仲間の様子 一声かけて災害予防

目次

ページ

1 発変電トピックス

広報部会

3 関電ニュース(水力電気/変電・制御)

(1) 社会的使命を支える変電設備の高度化と持続可能性への挑戦

関西電力送配電(株) 工務部 変電グループ チーフマネジャー 安喰 誠

(2) 変電所への猿侵入防止対策 ~猿の行動特性に基づく柵角部対策と段差抑制~

関西電力送配電(株) 滋賀本部 電気グループ チーフマネジャー 大西 賢

9 会員の声

(1) 『DIYから学んだこと』

(株)田電工房 代表取締役 木村 敬子

(2) 『日常の中に生まれた小さな非日常 — エキストラボランティアという新しい趣味』

(株)かんでんエンジニアリング 電力事業部 電力統括部 マネジャー 新田 達也

(3) 『自分のやる気スイッチ』

大阪工営(株) 営業技術部長 大平 佳孝

15 事業報告(2025年度)

各部会・事務局

22 会員名簿

24 役員名簿

発変電トピックス

1 発変電技術研究会の2025年度通常総会が、会員会社総数29社の内25社が出席（内、4社は委任状による）のもとに中央電気倶楽部にて開催され、すべての議案が承認されました。（5月15日付報告）

- 2024年度事業報告、決算報告および2025年度事業計画案、収支予算案が承認されました。
- 2025年度発変電工事関係表彰として、功労者表彰受賞2名について、議長より賞状および記念品が贈呈されました。



一般社団法人中央電気倶楽部にて開催

2 2025年度施設見学会が実施されました。（6月20日～21日）

明石海峡大橋の主塔に塔頂し、明石海峡大橋のスケールの大きさに圧倒される一方で、新たな知見を習得でき、有意義な見学会となりました。

会員会社15社（20名）の参加がありました。



明石海峡大橋 主塔見学状況

3 2025年度技術講演会が開催されました。（7月23日）

講師に関西電力送配電（株）工務部変電グループ安喰チーフマネージャーを迎え、「送配電事業における環境変化に伴う、現状と将来のDX取組み状況について」をテーマに講演が行われ、21社40名の参加がありました。



大阪府電気工事技術会館 6階にて開催

4 木村電気株式会社 木村 禎氏が第70回 澁澤賞を受賞されました。（11月3日発表）

【発明・工夫、設計・施工】 液面計測計の開発



第70回澁澤賞贈呈式（右から2番目が木村氏）

5 2026年発変電安全・衛生標語入選作を決定しました。

応募総数20社 165作品のうち、安全広報委員会で5句の作品を選定し、幹事会にて承認されました。尚、入選作品については、安全ポスターとして会員会社へ配布し、ホームページにも掲載しております。

6 2025年度三団体共催安全衛生講習会を開催しました。

2026年2月6日に、中央電気倶楽部大ホールにおいて開催され、総勢75社123名の参加があり、当会からは22社32名の参加でした。尚、今回の幹事は、大阪地中線協会が担当しました。

7 技術教育委員会において各種研修が開催されました。

① 関西電力グループアカデミー茨木研修センターで7件、(株)かんでんエンジニアリング安全技術研修館他で2件の研修が実施され、102名の参加がありました。

- 光およびLANケーブル取扱研修 7社8名
- 変電工事竣工検査研修4社6名
- シーケンス読解研修14社26名
- 制御ケーブル接続の基礎・実践 研修7社20名
- 安全技術体感研修 6社9名
- 77kV断路器調整研修4社7名
- 工事監督者基礎研修6社6名
- 変電工事 C級認定に関する研修 5社11名
- 工事設計基礎研修6社9名



77kV断路器調整研修

- ②「職長・安全衛生責任者教育(リスクアセスメント教育含む)」(三団体共催)が関西電力グループアカデミー茨木研修センターにて開催され、当会より3社8名の参加がありました。
- ③合同研修(変電・制御・水力部門)として6件の研修について会員各社37名の参加がありました。
- 変電ルーキーフォロー研修
 - 作業責任者・当直長研修
 - 500kV制御回路(応用)研修
 - 変電LAN型監視制御システム保全(応用)研修
 - 制御システムテレコン(専門)研修
 - 水力ステップアップ(応用)研修

8 技術提案の活性化と提案事例等の情報提供を実施しました。

2025年度は、1件の努力賞提案がありました。

- ・「トラック荷台昇降用梯子の製作」
提案者 安松谷 直司(株)安松谷組

9 現場安全コミュニケーションを実施しました。(10月28日)

関西電力送配電(株)京都本部勤進橋変電所において、会員会社5社6名、および関西電力送配電(株)京都本部電気 G・京都電力所より4名参加頂き、実施しました。

当日は、6.6kV装甲開閉器取替工事に伴うキュービクル据付作業の安全パトロールおよび現場施工に関する意見交換、自

主検電の定着化やクラウドカメラの活用等の安全衛生対策、設計に関する現場コミュニケーションを実施しました。



現場安全コミュニケーション実施状況

10 2025年度広報誌 No90号を発行しました。

広報誌 No90号を発行し、2025年6月に関西電力送電(株)、関西電力(株)および会員会社に配布しました。併せて、関西2府4県の高専、工業高校等59校に配布しました。ホームページにも掲載しております。

11 業界(発変電技術研究会) PR用パンフレットを作成しました。

関西電力送配電(株)管内の変電所電気工事について、関西地域の工業高校等新卒者を対象としたパンフレット作成し、広報誌と共に関西2府4県の高専、工業高校等59校に配布しました。ホームページにも掲載しております。

12 その他

(1) 2025年度中の会員会社異動

- 入会会員会社：なし
- 退会会員会社：なし
- 2026年4月1日現在の会員会社数 29社

(2) 会員の異動

- 発変電技術研究会の轟木克彦副会長(株式会社きんでん)が退任され、中山竜一氏(株式会社きんでん)が就任されました。
- 安全・広報委員会の谷口達也委員長(株式会社きんでん)が退任され、福山 照弘氏(株式会社きんでん)が就任されました。
- 安全・広報委員会の八鍬正男委員(株式会社かんでんエンジニアリング)が退任され、池野清志氏(株式会社かんでんエンジニアリング)が、また、辻元義弘委員(長尾電工株式会社)が退任され、掛村真氏(長尾電工株式会社)が、それぞれ就任されました。

退任の方々の長年のご尽力に対しまして、心から御礼申し上げます。

関電ニュース(水力電気/変電・制御)

社会的使命を支える変電設備の高度化と持続可能性への挑戦



関西電力送配電株式会社
工務部
変電グループ
チーフマネジャー
安喰 誠

1. はじめに

平素より、弊社事業に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

電力を取り巻く環境は近年大きく変化しており、設備の高経年化や労働人口の減少といった構造的課題に加え、自然災害の激甚化、さらには脱炭素社会の実現に向けた社会的要請の高まりなど、電力の安定供給を支える現場にはこれまで以上に高度な対応が求められております。

そのような状況の中、発変電技術研究会の皆様におかれましては、高経年設備の更新工事や保全業務に日々ご尽力いただき、電力の安全・安定供給を支えていただいておりますことに、改めて深く感謝申し上げます。

こうした環境変化に対応していくためには、従来の延長線上にとどまらない新たな技術導入や業務変革が不可欠です。弊社においても、脱炭素化への貢献、DXの推進、さらには業務効率化・高度化等、様々な取組みを進めております。

本稿では、その一端として変電所への新技術および DX 適用の動向についてご紹介いたします。

2. 新技術・DXの動向

(1) 植物油変圧器

従来、変圧器の絶縁油には鉱油と呼ばれる石油由来の油が利用されてきましたが、環境負荷低減を目的に菜種油を使用した変圧器(植物油変圧器)の導入を進めています。

植物由来である菜種油を利用することで、鉱油に比べ原料採取から精製、廃棄に至るライフサイクル全体のCO2排出量を約1/6に削減でき、環境負荷低減に寄与します。また、難燃性や生分解性に優れているため火災リスクや万が一の漏油影響低減が可能となります。



図1 新設変電所に導入した植物油変圧器

表1 絶縁油の性状比

分類 名称		天然エステル	鉱油
		菜種油	
引火点	°C(COC)	344	144
燃焼点	°C(COC)	360	152
動粘度	mm ² /s (40°C)	34.81	8.31
生分解性 (QECD 301C)	%	89	17
飽和水分量	PPM	約1000	100以下

(2) 脱 SF6ガス機器

従来、遮断器やガス絶縁開閉装置(以下、GIS)といった開閉装置では絶縁媒体として主に SF6ガスを使用してきました。SF6ガスは絶縁性能や遮断性能といった電気的特性に優れる一方、地球温暖化係数が CO2の24,300倍の温室効果を及ぼすことから環境への影響が懸念されています。

そこで SF6ガスを一切使用しない開閉装置の導入を進めています。脱 SF6ガス機器は絶縁媒体として地球温暖化係数がゼロである自然由来の乾燥空気(ドライエア)を使用しており、環境負荷低減に貢献します。



図2 84kV タンク形真空遮断



図3 84kVドライエア絶縁開閉装置

(3) デジタル変電所

変電所構内で使用する監視制御装置や保護リレーは、装置間を大量のメタルケーブルを用いて接続しています。そのため、ケーブルの布設、接続作業とそれに伴う確認作業に非常に多くのマンパワーを要するといった課題があります。

これら課題を解決するため、装置間の接続に LANケーブルを用いるデジタル変電所の導入検討を進めています。これにより、メタルケーブルの大幅な削減が可能となるだけでなく、将来的にはマルチベンダー化や機能集約による設備のスリム化、コスト低減も期待されます。

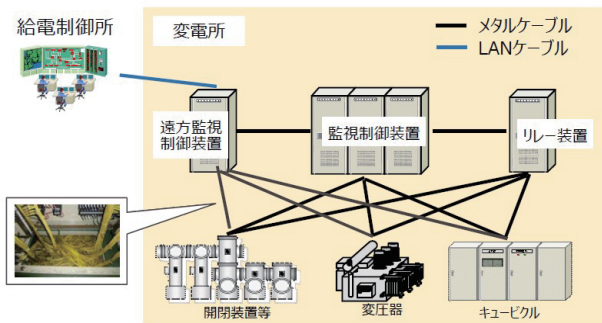


図4 従来の変電所構内における装置構成

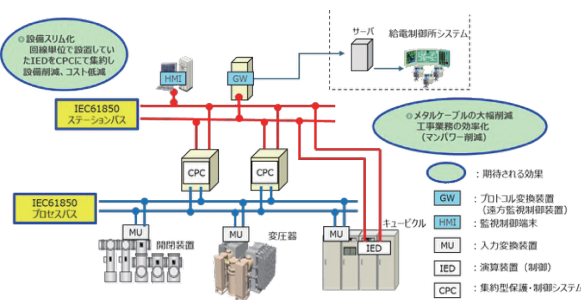


図5 将来の変電所構内における装置構成

(4) 保全業務のスマート化

設備の維持運用のために定期的な巡視・点検により異常の確認・改修を行ってきました。しかし、これらの業務は現場への出向を伴う作業や人手に依存する工程が多く、多大なマンパワーを必要としていました。そこで、様々な技術を活用し、保全業務のスマート化を進めております。

a. 巡視の遠隔化

従来、決められた巡視周期に基づき人が変電所へ出向し設備状況の確認を行ってきましたが、遠隔での現地確認が可能となるよう、ネットワークカメラやセンサの導入を進めています。ネットワークカメラやセンサ導入が進むことで、事務所や自宅、外出先等から変電所現地の状態が確認可能となり、現場出向回数の削減、事故障害時の迅速な対応が可能となります。また、将来的には AIにより異常検知を自動化する予定で、現在 AIモデルの作成・追加学習による検知率の向上を行っています。

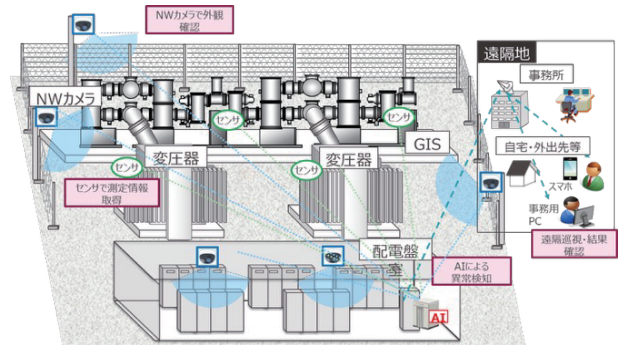


図6 遠隔巡視のイメージ図

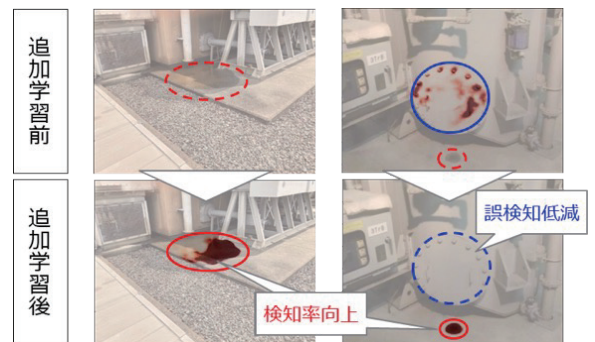


図7 AIモデルによる異常検知(追加学習前後)

なお、大規模変電所ではカメラ設置台数が膨大となるため、ドローンの自動飛行やロボットの自動巡回による遠隔巡視についても検証を進めています。



図8 ドローン飛行検証の様子



図9 ロボット巡回検証の様子

b. 点検のCBM化

従来、定められた点検周期に基づき人が変電所へ外出し機器の点検を行ってきましたが、機器にセンサを取り付け状態を常に把握、分析することで、異常兆候が発生した場合にのみ点検を行う CBM (Condition Based Maintenance: 状態監視保全)化を進めています。

昨年にはプロトタイプシステムが運開し、現在は拡大に向けて検討を進めています。

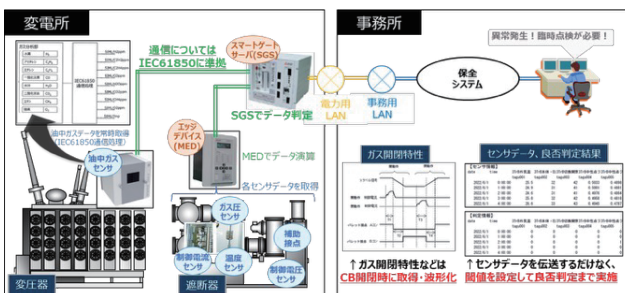


図10 プロトタイプシステムのイメージ図

(5) 変電所の3Dデータ化

従来、2D図面を使用していましたが、2D図面では工事設計時に既設設備との干渉確認や寸法確認のため現地調査が必要となる場合があり、時間を要しておりました。

そこで、2023年度より、変電所の3Dデータ取得に取り組んでおります。変電所構内を3Dデータ化し、設備配置や空間状況を立体的に把握できる環境を整備することで、設計精度の向上と現地調査の削減を目指しています。

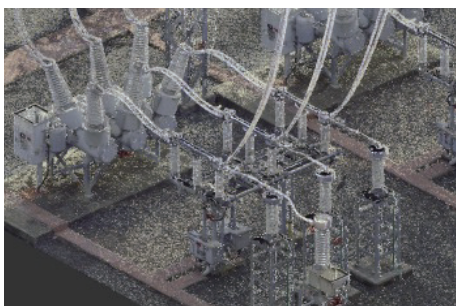


図11 変電所3Dデータ(点群データ)

(6) 制御ケーブル管理業務支援システム

変電所では多数のメタルケーブルが使用されており、工事に伴う数量算出や各種資料作成に多くの時間を要しています。

これらの業務効率化を目的に、制御ケーブル情報をデータベース化し、一元管理を行う「制御ケーブル管理業務支援システム」の開発を進めています。

将来的にはデジタル変電所への移行を見据えつつ、当面は本システムの活用により、制御ケーブル関連業務の効率化・省力化を図ってまいります。

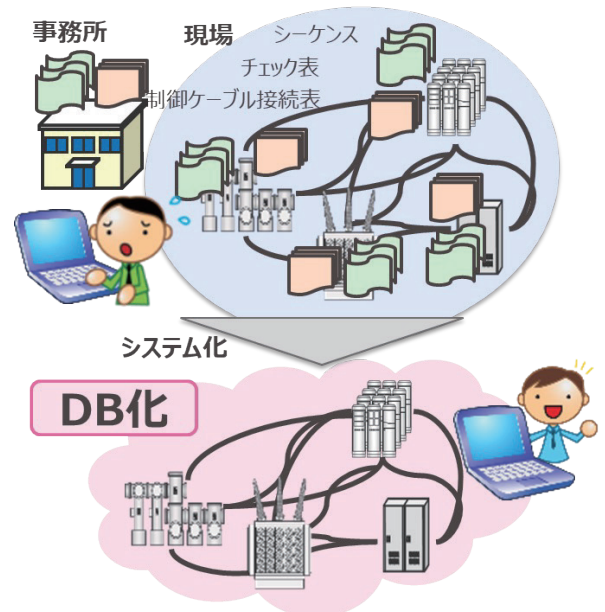


図12 制御ケーブル管理業務のシステム化イメージ

3. 最後に

本稿では、変電分野における新技術および DXの取組みの一部をご紹介いたしました。これらの取組みは、脱炭素社会の実現や労働力不足への対応、さらには持続可能な電力の安定供給体制の構築に向けた重要な挑戦であります。

一方で、新技術の導入や業務変革を着実に進めていくためには、現場を支えていただいている皆様のご理解とご協力が不可欠です。皆様のお力添えを得ながら、今後も安全を最優先とし、より効率的かつ持続可能な変電設備の構築と業務運営の高度化に努めてまいります。

引き続き、発電電技術研究会の皆様とともに、電力の安定供給という社会的使命を果たしてまいりたいと存じますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

変電所への猿侵入防止対策 ～猿の行動特性に基づく柵角部対策と段差抑制～



関西電力送配電株式会社
滋賀本部
電気グループ
チーフマネージャー
大西 賢

1. はじめに

近年、電力設備を取り巻く外的リスクは自然災害にとどまらず、生物起因の事故リスクが顕在化している。中でも猿による電気設備への被害は、瞬時電圧低下、地絡・短絡事故、開閉器・計測器の誤作動誘発など、電力品質と設備信頼度に直接影響を及ぼす。

滋賀県は、琵琶湖を取り巻く比良・比叡・鈴鹿の山地と、湖岸に連なる市街地・インフラが近接する地形特性を有している。このため、猿の生息域と電力設備が重なりやすく、山地から変電所・開閉所へのアクセス距離が短い。実際、当社滋賀エリアでは、過去30年間に猿侵入による停電事故を複数経験しており、近年は短時間停電や瞬時電圧低下であっても社会的影響が大きいことから、より実効性の高い対策が求められてきた。

2. 実事例に見る変電所への侵入および行動特性

猿侵入対策を考えるうえで重要なのは、侵入経路だけでなく、侵入後の行動を具体的に把握することである。ここでは、当社変電所で確認された猿の侵入事例をもとに、猿の行動特性を整理する(図1参照)。

当該事例では、夕刻に約40頭規模の猿の群れが鉄塔敷地側から正門方向へ移動し、18時38分頃、先行個体1頭が正門門柱を登攀(とうはん)して構内へ侵入した(図1吹き出し①)。その後、18時48分頃には複数個体が侵入したものの、短時間で構外へ退出している(図1吹き出し②)。さらに19時頃には、送電線を伝って構内へ侵入する個体も確認され、地上経路に限らず、電力設備そのものが移動経路として利用されている実態が明らかとなった(図1吹き出し③)。

侵入後すぐに退出する行動が確認された点は重要である。これは、猿が構内を「探索」「安全確認」するような行動を取り、侵入可否を学習している可能性を示唆している。一度侵入を経験させてしまうと、その後の再侵入リスクが高まることから、侵入を成立させない初期段階での対策が重要となる。

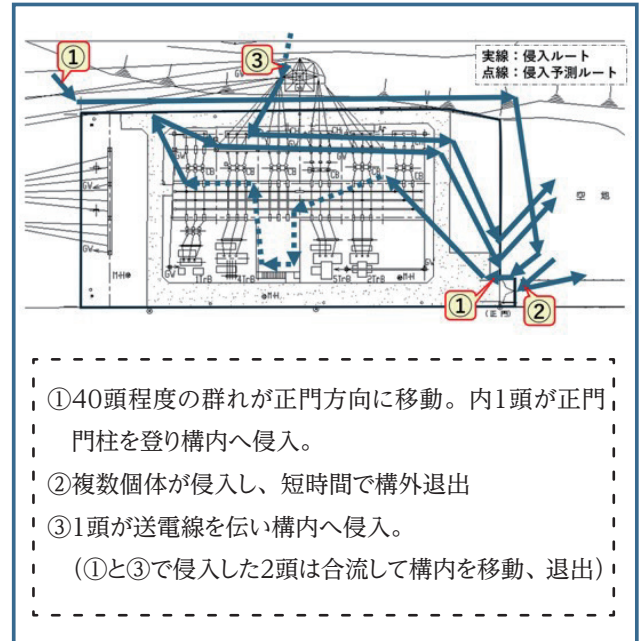


図1 当社変電所における猿侵入ルート概念図
(猿は正門門柱や送電線など、地上以外の構造物を利用し構内へ侵入する事例が確認された)

3. 従来対策の限界と課題

これまで変電所における猿侵入対策としては、変電所外周の柵(以下、「柵」)のかさ上げ、門扉の二重化、剣山の設置、周辺樹木の伐採などが実施されてきた。これらは一定の効果を発揮する一方で、猿の高い学習能力や個体差、侵入ルートの多様性を十分に織り込めていない場合、抜け道が残りやすい。

特に剣山などの「痛み」を利用した対策については、検証の結果、猿が怪我を負いながらも登攀を試みる事例が確認されており、決定的な侵入防止策とはなりにくいことが分かってきた。従来対策を個別に積み上げるだけでは限界があり、猿の行動特性を前提とした整理が必要であるとの認識に至った。

4. 行動特性の実証的検証から得られた知見

こうした課題意識のもと、当社では変電所構内に猿検証施設を設置し、柵の高さ、材質、角部形状、足掛かり条件、横方向からの跳躍可能性などを変えながら、実際の行動を観察・検証した。その結果、以下の知見が得られた(表1)。

- 平面部では高さ2,500mm以上で侵入成功例は確認されなかった(図2-a)。
- 一方、角部では2,500mmを超えても登攀され、最大2,950mmまで到達する個体が存在した(図2-b)。
- 2mm程度の微小な段差やメッシュ端部であっても、十分な保持点として利用される。
- 目的物(好奇心を刺激する物等)が存在する場合にのみ走り込み跳躍などの高度な跳躍・登攀行動を選択する。

表1 猿行動特性に関する主な検証知見の整理

項目	検証結果
平面部	2,500mm 以上で侵入成功例なし
角部	最大2,950mm まで到達
微小段差	2mm 程度でも保持点
行動条件	目的物がある場合のみ高度行動

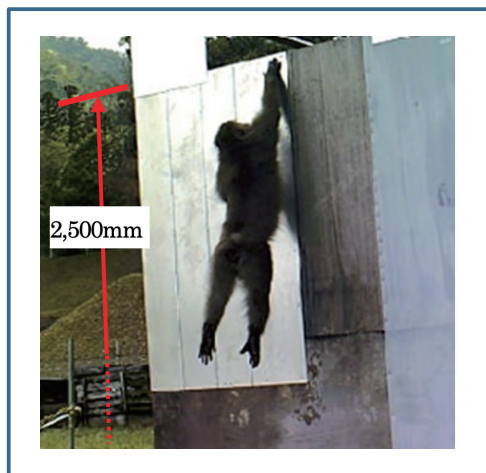


図2-a 猿検証施設における登攀状況(平面部)

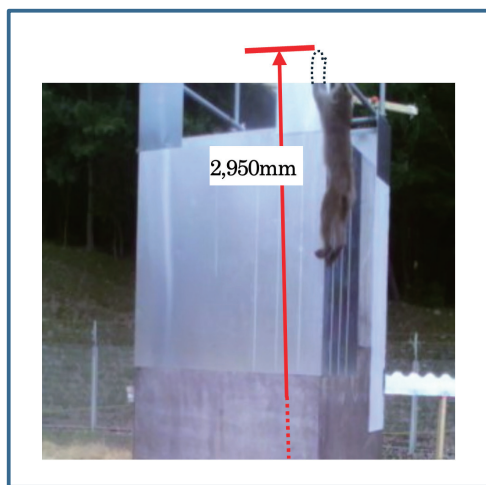


図2-b 猿検証施設における登攀状況(角部)

これらの結果から、単純に高さを確保する、あるいは滑りやすい材質を採用するといった対策だけでは不十分であり、特に角部や接合部といった「行動の起点」になりやすい箇所を含めて、侵入行動そのものを成立させない構造的な考え方が不可欠であることが明らかとなった。

5. 当社出願特許(特開2023-110531)における侵入防止構造

猿侵入対策という「柵を高くする」「滑りやすい素材にする」といった強化策を思い浮かべがちだが、実際に問題となりやすいのは柵の平面部よりも、門柱、控柱、角部、接合部といった“角・端部”である。人の目にはわずかに見える段差や端部処理の甘さが、猿にとっては十分なつかみ所となり、そこを起点に登攀が成立してしまう。

こうした実事例と検証結果を踏まえ、当社が本件で出願した特許(特開2023-110531)では、対策を「部材を足していく競争」にしないための構造的整理を行っている。狙いは、痛みでやめさせるのではなく、猿の一連の動き(走り込み→跳躍→保持→登攀)がそもそも成立しないように、角部・接合部を中心とした形状・寸法・仕上げを構造として作り込むことである(図3)。

【従来対策】 ・高さを上げる ・滑りやすい素材にする ・痛みで抑止する	➤	【当社技術】 ・角部・端部を作らない ・掴めない・保持できない構造 ・行動連鎖を成立させない
-----------------------------------------------------	---	----------------------------------------------------------------

図3 従来対策と当社技術の考え方の違い

前述の考え方を、実際の設備構造として具体化したものが本特許である。本特許では、猿の侵入が多く発生しやすい柵や門柱の角部に着目し、従来対策では十分に整理されていなかった構造上の工夫を盛り込んでいる(図4)。

特徴の一つは、柵の角部において、平面部よりも上方に突出した突出部を設け、角部の高さを平面部の高さよりも高く構成している点である。検証結果から、猿は柵の平面部よりも角部を利用して登攀しやすく、また角部では平面部以上の到達高さを示す個体が存在することが分かっている。そこで本特許では、侵入の起点となりやすい角部のみを構造的に強化し、角部からの登攀が成立しにくい高さ関係となる構造としている。

また、突出部の形状についても、猿が手足を掛けて次の動作につなげにくいよう、猿が手足を掛けやすい段差や突起が生じにくい構造としている。角部や接合部に微小な段差や突起が残ると、それが保持点となり登攀行動を助長することが検証で確認されているため、本特許では、突出部と柵部との境界や、柵部と基礎部の境界においても、猿が保持点として利用しにくい形状となるよう配慮している。

さらに、本特許は高さ方向だけでなく、猿の跳躍・保持・登攀といった一連の動作のつながりを意識した構造として整理されている。猿は目的物がある場合に走り込み跳躍などの高度な行動を選択する傾向があるが、突出部によって角部上端の

有効高さを増すことで、跳躍時の到達位置と上端との間に余裕が生じ、高度な行動をしても上端に手足が届きにくく、保持が成立しにくい状態を作り出している。その結果、跳躍は生じても登攀に至らず、侵入行動が途中で成立しなくなる構造となっている。

なお、本特許の構造検討にあたっては、実証検証で得られた寸法条件も参考としている。検証施設における確認では、柵の平面部においては高さ約2,500mm以上で侵入成功例は確認されなかった一方、角部を利用した場合には最大で約2,950mmまで到達する個体が確認された。これらの結果から、角部は平面部に比べて登攀成立の余地が大きいことが明らかとなり、角部の有効高さを平面部より高く設定する構造が検討された。

7. おわりに

短時間停電であっても社会的影響が大きい現在、猿対策は設備保全の一部にとどまらず、供給信頼度を支える基盤的な取り組みとして位置付ける必要がある。また、単なる柵の強化では解決できない複合的な課題でもある。実事例の分析、行動特性の実証的検証、そしてそれらを整理して技術としてまとめた当社出願特許における侵入防止構造を組み合わせるとともに、本稿では詳しく触れていない送電鉄塔からの侵入対策を併せて実施することで、初めて実効性の高い対策が見えてくる。本稿で示した知見が、電力業界における獣害対策の高度化と情報共有の一助となれば幸いである。

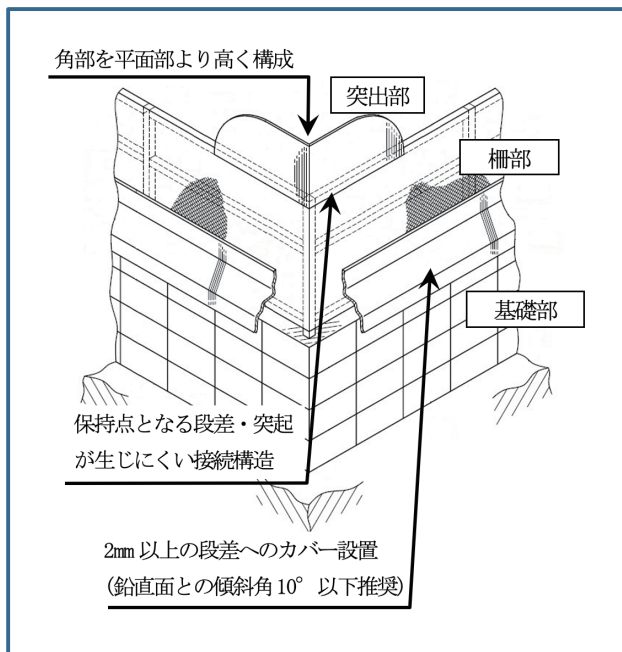


図4 動物侵入防止柵(特許構造の概要図)

6. 電力設備への適用と今後の展望

本稿で紹介した知見と当社出願特許の考え方は、変電所に限らず、再生可能エネルギー設備など、屋外電力設備全般に適用可能である。特に新設や大規模更新の段階で構造として取り入れることで、後付け対策に比べ、費用対効果の高い対策が期待できる。

会員の声

DIYから学んだこと



株式会社 田電工房
代表取締役

木村 敬子

この度は会報誌の執筆の機会をいただき、ありがとうございます。昨今、巷で流行っているというDIYを私もしていますので、その話をさせてください。

私にはもう家を出て数十年たつ実家があります。両親が住んでいたのですが、父親が5年前に亡くなり、母親もその後施設に入所しました。高齢者2人が暮らしていた実家はほとんどゴミ屋敷のようになっており、使っていない部屋は物が詰め込まれ、溢れかえっている状態でした。若い頃は私自身も生活していた実家をそのままにしておく訳にはいかないと整理することにしたのです。

さて何から手をつけていいものかと思案しながら、とにもかくにもゴミを処分していきましました。思い出や感情を持つと捨てられないものが、どんどん増えてくるので、家の中すべてのものをゴミだと割り切り、あれもこれも何もかも捨てました。少しスッキリした実家を見て、ここからどうしようかとなります。私は別に住まいを持っており、実家にかかる資金も時間も余裕がありません。それなら時間がかかって、ゆっくりでよいので、少しずつでも自分で出来ることをしていこうと決め、実家のDIYを始めました。結果、このDIYを通じて学ぶことが多くあり、現場作業に生かせる気づきが沢山あったのです。

実家は2階建てとなっており、まず下階のリビングダイニングの壁を塗装しました。下塗りが不要の塗料を使ったので、壁の塗装は比較的楽でした。そのまま廊下や洗面所の壁も塗装していきます。下階の水廻りやリビングは数年前にリフォームしてあったので、まださほど汚れていなかったのも楽に施工できた要因だと思います。これならDIYもサクサク進められると思い、調子に乗ってどんどん進めていくと養生が甘い部分などは塗料がはみ出たり、塗り際が汚くなったり、床にペンキが飛んだりして、塗装前の養生の大事さを知りました。次に下階の和室を整えることにし、まず畳を捨てました。畳の

入れ替えを考えたものの、これからは椅子の生活でいいだろうと畳はやめました。リビングや廊下と同じように壁を塗装したら、砂壁で薄暗かった和室が明るくなりました。押し入れの襖もYouTubeの見様見真似で張り替えました。床は畳の厚さ分を根太で底上げし、コンパネを張りました。2間続きの和室だったのですが1間として使うことにし、部屋間の襖のレール(敷居)を室内用の下地材で埋めることにしました。この下地材を面倒くさがって適当に捏ねて使ったところ、ダマが残っておりポコポコになってしまい、往生しました。表面を均すためにヤスリをかけるものの下地材が硬くなかなか滑らかになりません。数日間ヤスリと闘い最後はベビーサンダーで表面を削り取りました。削った下地材が家中に舞い散り、それはそれは大変な思いをすることになりました。使う資材はきちんと正しく扱わないと大変なことになると知りました。

仕上げは床にクッションフロアを貼ります。クッションフロアの厚さと重さに辟易としながらも何とか仕上がった和室は、素人の作業だとすぐにわかる出来ですが、十分明るく広く、これで気持ちよく父親の年忌もできると、とても嬉しかったです。



1階和室

ここで一旦下階はひと段落とし、作業を上階に移します。

上階の屋内を始める前に、ベランダの手すりが錆びてきていたので、錆止めを下塗りしてペンキで塗装しました。手すりが綺麗になると、今度は塗料が剥がれている床が気になってきます。床に防水塗料を塗り終わるころには、下階の作業から通して、塗装には随分と慣れたように思います。



ベランダ

上階は以前は子ども部屋や両親の寝室だったこともあり、下階に比べプライベート感が強く、私的に使うのであれば、あれこれしてみたいという気持ちになってきました。

まず洋室と和室で背中合わせの押し入れとクローゼットを潰してウォークインクローゼットを作ることにしました。押し入れや既設のクローゼットを解体してみると、家の造りや構造がみえてきて、俄然面白くなってきます。作る物には根拠があって、用途や意味があるのだと改めて目の当たりにしたように思いました。



ウォークインクローゼット

解体後、新たに壁や天井、床を張る作業は構造体を理解し考えながらだったのと、大きな資材を使いながら、その反面とても緻密な作業となり、それまでとは違って急に難しくなりました。年数の経っている家なので、そここの補修も必要であり、手間ばかりが増えていく感覚になったりしました。ただ、すごく面白くもあったので、この後は2間続きの和室の欄間を解体したり、こちらも2間続きの洋室の内壁を取り壊したりと、DIYの作業も大がかりになっていきました。

多少?大々的に?歪みがありながらもウォークインクローゼットを大まかに作り上げ、使い方を何も決めていないままなので、仕上げは後回しにします。

次に和室に取り掛かります。下階と同じように2間を1間にします。欄間と鴨居・敷居を解体しました。畳はすでに廃棄済みなので、綺麗に仕上げをしていく作業といきたいところですが、陽当たりの加減なのか砂壁が剥がれ落ちているところと残っているところがあるので、砂壁をすべて剥がしてしまいます。霧吹きで水をかけ湿らせ、ヘラでこそげ落とすと砂壁は案外簡単に剥がれます。それでも部屋中となると、根気がある作業でした。砂壁が剥がれるとモルタル壁となったので塗料を塗ってみると、下塗り不要とあったのに、塗料がはじいてしまい上手く塗ることが出来なかったの、シーラーを塗って乾かしていきます。シーラーとプライマーの違い、塗料の水性と油性の特性などをこの作業で学びました。壁を塗装し、床は底上げをせずに補強のためコンパネを張りました。

ウォークインクローゼットも和室も中途半端ではありますが、今度は洋間の作業をしていきます。

前述のとおり洋間の内壁を取り壊しました。解体をしていると、

とにかく廃材が多く出ます。使えるものは再利用しますが、それでも追いつきません。部屋中が廃材で歩くのもままならなくなるのですが、廃材の処分をまとめてしたいので、どんどん解体をすすめる形になっています。

解体中、骨身に沁みたのが整理整頓の大切さです。作業場を移動してばかりいたので資材や道具がそこそこに散乱しており、何か作業をしようとする度に物を除けたり、探し物をしていました。作業は遅くなるし、危険でもあります。常々、整理整頓!と言っていますが、本当に大事なことだと痛感しました。

洋間の内壁がなくなった後は、既設のフローリングが傷んでいて床が抜けそうな箇所があったりしたので、コンパネで増し張りをしました。この洋間では少し好みやインテリアを考える余裕が出てきたのか、窓枠やドア枠、廻縁に巾木などをペンキで塗ってみたいもし始めました。こうなるとDIYが一気に楽しいものになってきました。

現在はここまでの作業となっているため、今後は上階の床や天井、その他各部屋をどのように仕上げようか等、楽しみながら思案を続けています。



2階洋間

ここまで一人で出来ることは、出来る限り自分で。と思い作業してきましたが、なかなか自分ではどうにもならないことが多すぎて情けないやら、人の手助けがこれほどまでに嬉しいものかと、改めて色々と感じています。まず私は絶対的に力がないようです。ペンキ缶の蓋を自分ではなかなか開けられなかったり、インパクトドライバーを使用してもビスを叩き込めず空転させてしまったりと、何をしても苦勞ばかりです。石膏ボードはカッターナイフで簡単に切れると聞いていたのに、いざ自分で切ってみるとカッターに体重を乗せてもキレイな切り口にならない。

思うように出来ないことばかりで「なんでなん?」と、困った時はいつも、会社の監督や作業員に助けてもらい、時には作業を替わってもらいながら、ここまで進めてこられました。施工の方法や知恵を、たくさん教えてもらってあります。この、人に伝え教えるということも監督や作業員にとって無駄ではないと思うので、これからも何かしら、それぞれ自分の成長につなげられるようなDIYを続けていきたいです。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

日常の中に生まれた小さな非日常 — エキストラボランティアという新しい趣味



(株) かねでんエンジニアリング
電力事業部 電力統括部
マネジャー(技術統括)
(兼) 総括安全・品質担当

新田 達也

この年になっても、いろいろな趣味を持っていることは、私にとってささやかな喜びです。若い頃から続けてきたゴルフはやめてしまいましたが、テニスは今も週末の楽しみとして続けています。家の中のちょっとした棚や台をDIYで作ったり、家庭菜園で“買うより高い野菜”を育てたりと、日々の暮らしの中に小さな楽しみを散りばめています。天気が悪い日にはプラモデル作りに没頭し、月に一つのペースで完成させていますが、新作が出るとつい買ってしまうため、倉庫には一生かかっても作り切れないほどの“積みプラ”が眠っています。

そんな私に、この2、3年で新しい趣味が加わりました。映画のエキストラボランティアです。まさか自分が映画づくりの現場に立つ日が来るとは思っていませんでしたが、これが実に奥深く、刺激に満ちた世界でした。

■エキストラとの出会い

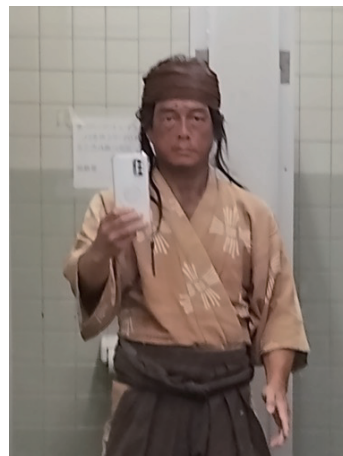
きっかけは、演劇部経験のある妻のひと言でした。「大津市で映画のエキストラを募集している。一緒に応募してみない?」と誘われたのです。正直、最初はあまり気乗りがしませんでした。しかし特に予定もなかったので軽い気持ちで応募したところ、妻は落選し、私だけが当選してしまいました。

その作品は、大泉洋さんや堤真一さんが主演する映画『室町無頼』で、なんと10回参加するとエンドロールに名前が載るといふものでした。興味のある方はぜひインターネットで調べてみてください。

初めてのエキストラは、一揆に参加する室町時代の農民役でした。ポロポロの袴に、ほぼ一枚布のような薄い羽織、裸足に本物のわらじという衣装で、松明を持って走り回るというものでした。撮影現場では情報漏洩防止のためスマホの持ち込みが禁止されており、待ち時間は他のボランティアとひたすらおしゃべりをして過ごしました。当時は制作発表前で、どんな映画なのか、誰が出演するのかすら知らされていませんでした。

エキストラには、学生からシニアまで、年齢も職業もさまざまな人が集まります。しかし「作品づくりに関わりたい」という思いは共通しており、待ち時間に交わす会話から、普段の生活では出会わない価値観や人生に触れられるのがこの活動の魅力です。撮影が終わる頃には、初対面とは思えないほど打ち解

けていることもあります。名古屋や広島から車に来て、撮影後に車中泊して帰るという強者もいました。そこで知り合った人とは今でも連絡を取り合い、別の作品で再会することもあります。



室町時代の牢人
(トイレで自撮り)

■現場で知った映画づくりの奥深さ

本番は夜の撮影で、それまでひたすら待機し、スタッフに呼ばれてはテストを繰り返します。本番前にもまたテストがあり、監督が納得しなければもう一度やり直します。わらじは非常に薄く、碎石の上を全速力で走ると足の裏が悲鳴を上げるほど痛いのですが、200~300人のエキストラが松明を手に一斉に走り回る光景は圧巻で、参加している側でありながら胸が高鳴りました。

その後も何度かエキストラに参加でき、太秦映画村のセットを走り回ったり、ロケバスで郊外の撮影地へ向かったりしました。ロケ先では地元の方が食事を振る舞ってくれることもあり、温かいもてなしに触れるたびに、映画づくりが地域とともにあることを実感しました。

回数を重ねるうちに助監督にも顔を覚えていただき、農民役から馬借、牢人、御所側の侍、洛中警護役など、さまざまな役を経験しました。残念ながら鎧を着る役は回ってきませんでしたが、洛中警護役では、クライマックスで大泉洋さん演じる蓮田兵衛が北村一輝さん演じる悪徳大名にとどめを刺すシーンを、目の前で見ることができました。私の立ち位置からはカメラに映らないため、まるで特等席の観客のように演技を堪能できました。

エキストラにも演技指導があります。大げさに感じる動きでも、映像で見ると自然に見えることが多いです。監督が突然やってきて「もっとこうしてほしい」と指示されることもあります。戦闘シーンでは殺陣師から直接指導を受け、槍を持って乱闘に加わったこともありました。

カメラリハーサルの最中に「もう少しここに人が欲しい」と言われると、エキストラの中から選ばれて映る位置に移動することがあります。慣れてくると、選ばれやすい位置を狙って少しずつ動くという“技”も身につきました。

夏に始まった撮影は年末まで続き、結果的に10数回参加することができました。エンドロールに自分の名前が流れたときは、ささやかながら大きな達成感がありました。予告編や本編にも数シーン映っていますので、もし機会があれば探してみてください。もっとも、一瞬なので見つけられないかもしれませんが(笑)

■映画づくりを支える人々への敬意

映画は監督の指示で進むものだと思っていましたが、実際には複数の助監督がそれぞれのパートを受け持ち、状況に応じて打ち合わせを重ねながら進行していきます。衣装、メイク、床山、照明、カメラ、殺陣、火薬、特殊効果、看護師、ボランティア調整など、画面に映らないところで多くの人が全力で作品づくりに取り組んでいます。



町人着流し姿(この後、綾野剛さんと共演)

その姿を間近で見て、映画は本当に多くの人の力で成り立っているのだと深く感銘を受けました。

エキストラから役者に話しかけることは禁止されていますが、まれに役者の方から声をかけてくださることがあります。そうした方々は、私たちボランティアにも気を配ってくださり、プロとしての姿勢に触れるたびに胸が温かくなります。

『室町無頼』を皮切りに、『科捜研の女』『木挽町の仇討ち』『ちるらん新撰組鎮魂歌』『吉原花魁大戦争』など、さまざまな作品に参加する機会を得ました。滋賀・京都・大阪にはエキストラ募集団体があり、登録しておくともメールが届きますが、仕事があって日程が合わなかったり、応募しても落選したりとなかなか難しいものです。それでも当選を狙って応募し続けます。

■小さな非日常が日常を豊かにします

エキストラボランティアは、主役のように台詞があるわけでもなく、名前がクレジットに載ることもほとんどありません。しかし実際に参加してみると、「背景をつくる」という役割が作品全体の空気を支える大切な要素であることを強く実感します。



撮影所のプロがコスプレ?してくれます

この活動は、私にとって「日常の中の小さな非日常」です。仕事とはまったく異なる世界に身を置くことで気持ちがりセットされ、新しい刺激が普段の生活にも前向きなエネルギーをもたらしてくれます。心の健康にも良い影響があると感じています。

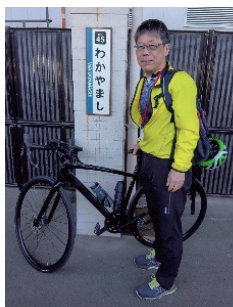
本文では主に『室町無頼』のことを書きましたが、これまで参加したどの作品にも楽しい思い出があります。定年後は、ベテランのエキストラさんたちのように、より多くの作品に関わるのも良いかもしれないと思っています。

今後も、仕事と生活の合間を縫ってエキストラ活動を続けていきたいです。画面の片隅に映るだけの存在かもしれませんが、その一瞬のために現場で過ごす時間は、私にとってかけがえない経験です。これからも物語の背景を支える一人として、静かに、しかし確かに作品づくりに関わっていきたくと思っています。

エキストラボランティアは、新しい視点と出会いをもたらしてくれる趣味です。日常に小さな冒険を求める方には、ぜひ一度体験してみてください。きっと、画面の向こう側に広がる世界が、今までとは違って見えてくるはずです。

どこかで私を見つけたときは、いくらでもお話しますので、ぜひ声をかけてください。

「自分の中のやる気スイッチの発見」



大阪工営株式会社
営業技術部長
姫路営業所 所長代理

オオダイラ

大平 佳孝

この度は広報誌「発変電」への執筆の機会を頂きありがとうございます。

何を書いたらいいのか悩みましたが、私事を書くことにしました。

最初にちょっとだけ会社のことです。当社では新卒採用の減少、また、若手社員の離職の増加で労働力確保が困難な状況が続いています。

近年、若手(中堅)社員の離職が続いていて、なぜ定着しないのか?を考えるのですが答えが見つかりません。

そこで、自分はどうだったのか?を振り返ってみます。

私事ですが、一昨年に42年間お世話になった会社(同じ業界のメーカー)を定年退職し、第2の人生として、現在の会社にお世話になっています。

私が以前の会社を42年間勤められたのは、

【10代~30代半ば】

1日24時間の内

- 仕事(通勤含む) 13~14時間、残業は当たり前(過去の話です。今では労働環境は改善されています)
- お付き合い 5~6時間(パチンコ、酒、カラオケ等)
- 睡眠等(家にいる時間) 4~6時間

こんな生活が毎日でした。

でも、今思えばこれも楽しかったのかな?

若さゆえの勢いだけで生きていたような・・・

【30代後半~40代】

仕事半分、家庭半分、お付き合いもありましたが、この年代は家庭中心の生活でした。野球経験もないのに、子供の野球に連れ出されて、週末は子供と同じく野球漬け!

しかし、元気だけが取り柄のはずの私が

- 脊柱管狭窄症を発症、初めての手術を経験
- 四十肩発症

自分では気づきませんでしたが体は老いてきました。

【50代】

- 不摂生がたたって生活習慣病(糖尿病)を発症
- 2週間の教育入院

この2週間の入院で、バランスの良い食事と、3食後の運動により、退院時は入院時に履いてきたズボンがぶかぶか! 体のサイズが縮小され、慌てて服、ズボンを購入しなければなりませんでした。(嬉しい悲鳴!!)

また、この入院が自分を変えるきっかけとなりました。

■ウォーキングとの出会い

教育入院で、食後の運動が大事と指導を受け、退院後は毎晩1時間、6kmの河川敷ウォーキングを開始。

■山登り(小山)との出会い

ウォーキングばかりではあきてきたので、週末には近くの山(小山)に行ってみた。

まずは天王山からポンポン山。山道はキツイ所もあるがすがすがしい気分になった。途中、道に迷いそうになり、こんな小山で遭難したらどうなるかと少し怖い目にあったが無事下山。下山後は途中で出会った方に教えてもらったアプリを早速ダウンロード、これで道に迷うことなく安心して登山ができるようになりました。

登山をしていると

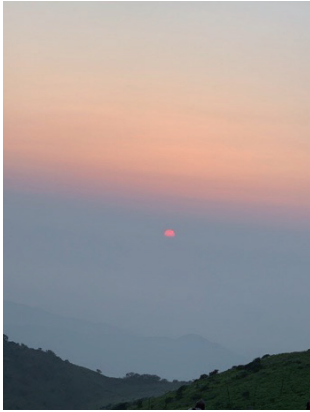
- 川のせせらぎの音や鳥の鳴き声で癒される
 - 山頂からの景色や四季折々の自然の景色で癒される
 - 小山ですが達成感を味わえる
- 等々、日常から離れて、気持ちをリセットできます。又、山頂で飲むコーヒーは最高!

山道を歩いていると鉄塔に遭遇します。なぜか鉄塔に貼られている銘板が気になります。(職業柄でしょうか)



関西電力送配電(株)の送電鉄塔(ポンポン山にて)

伊吹山でみたご来光と野生の鹿との遭遇、感動!



伊吹山でみたご来光



野生の鹿

■マラソンとの出会い

毎晩1時間、6kmの河川敷ウォーキングをしているとちょっと走ってみようかなと思いジョギングを開始。

はじめは1kmくらい走れ、次第に2km、3kmと距離が延びて、ついにいつも歩いている6kmを完走!いつしか河川敷を離れ公道へ。10km、15kmと走れる距離が延びて、会社の友人とマラソン談義するまでになり、とうとうマラソン大会(ハーフマラソン)デビュー。

鴨川を21km走り切り完走。その後練習を重ねているうちに、とうとうフルマラソンデビュー。加古川沿いを軽快にRUN、しかし、そこで30kmの壁に遭遇、今まで痛くなかったことのないところ(膝、膝裏、股関節)が痛くてSTOPしたが、なんとか歩いてゴール。

次の目標は「歩かず完走」。

その後香住、福知山、木津川、と走ったが30kmの壁は厚く目標達成出来ず。大会に参加し続け5走目。

なんと、自分の中で「やる気スイッチ」発見。

いつもは30km付近で「足痛い、抜けそう、もうダメ」となって歩くところ「やる気スイッチ」が出てきてそれをONにすると「足が抜けるまでがんばれ!足が抜けたら止まればいい」と自分に言い聞かせることができ歩かず完走!

目標達成!

その後、スイッチの発生確率は38%でした。



海岸の景色が美しい「香住ジオパークフルマラソン」

■ロードバイクとの出会い

友人の勧めで59.9才(60才の誕生日の1週間前)にロードバイクを始めました。知人がロードバイクで大けがした話を聞いたことがあるので、なかなか踏ん切りが付かなかったのですが、どうしても、しまなみ海道が走りたかったので始めました。

今まで、車、電車等でしかいけなかったところへ自転車で行けることに感動。

東: 嵐山、宇治、喜撰山ダム(自走) 近江八幡(輪行)

西: 明石(自走)

しまなみ海道(輪行、尾道まで新幹線、今治からフェリー)

南: 関空、深日港(自走)、和歌山(輪行)

北: 亀岡、丹波篠山(自走)



念願のしまなみ海道

自転車で遠くまでいけるのはなぜか?

ランニング、ウォーキングは足を動かし続けなければゴールに着かないが、自転車は途中足を止めても進み続けてくれるからです。だから60才超えても続けられていると思います。

若手(中堅)社員がなぜ定着しないのか?

自分がどうだったか?を振り返ってみましたが、答えはわかりませんでした。

しかし、色々な趣味を行ったりフレッシュすることで、仕事への活力となり、頑張れるのではないかと思います。

又、色々な趣味を行うことにより自分の中の意外なものが発掘できるのではないのでしょうか?

(私の場合は「やる気スイッチ」でした。)

最後になりますが、今後も若手社員を増やし、定着させるよう仕事と趣味を精一杯取り組んで行きます。

事業報告

(2025年度)

発変電技術研究会 事務局

全般

1. 通常総会

① 2025年度通常総会開催について

2025年5月14日(水) 15時00分から17時00分にかけて、大阪市北区堂島浜2丁目1番25号の一般社団法人 中央電気倶楽部5階513号室において開催した。会員総数29社の内、25社が出席、4社が委任状を提出、会則により総会が成立し、次のとおり付議事項を審議し、承認された。

- 第1号議案 2024年度 事業報告に関する件
- 第2号議案 2024年度 決算報告、会計監査報告に関する件
- 第3号議案 2025年度 事業計画(案)に関する件
- 第4号議案 2025年度 収支予算(案)に関する件

② 2025年度発変電工事関係功労者他の表彰について

2025年度総会において、2025年度発変電工事関係功労者表彰2件に対して、会長より賞状および記念品が贈呈された。

- a. 発変電工事関係功労者表彰(2件) (表彰者所属会社:50音順敬称略)
 - 大北 隆三 [(株) きんでん: 初島電設]
 - 中川 稔久 [住友電設(株)]

幹事会

2025年度の事業計画にもとづき幹事会を6回開催(うち1回は、書面開催)し、各種の課題について検討協議した。主な事項は次のとおりである。

① 2024年度決算と2025年度予算(案)、ならびに2025年度の事業計画(案)の審議について

2025年4月の幹事会において、関係委員長および事務局より2024年度の事業報告と決算報告を行うと共に、2025年度の事業計画(案)と新しい会費による2025年度予算(案)について事務局から提案を行ない、それぞれ審議のうえ承認された。これを総会議案として取りまとめ、2025年度通常総会に付議し、承認を得た。

② 2025年度電気保安功労者表彰他について

2024年12月の幹事会において、2025年8月に表彰が執り行なわれる「経済産業大臣表彰」および「中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰候補者個人の部(電気保安関係永年勤続者)」並びに「関西電気安全委員会委員長表彰候補者個人の部(電気保安関係永年勤

続者)」を選考し、会長から各表彰委員会へ推薦する予定であったが、「該当者なし」を報告した。

- ・経済産業大臣表彰候補者 : 該当者なし
- ・中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰 個人の部(電気保安関係永年勤続者) : 該当者なし
- ・関西電気安全委員会委員長表彰 個人の部(電気保安関係永年勤続者) : 該当者なし

また、2025年6月、第70回澁澤賞候補者として以下1名の推薦を行った結果、受賞が決定した。

- ・澁澤賞(第70回)
【発明・工夫、設計・施工】 受賞要件 『液面計測計の開発』
: 木村 禎 [木村電工(株)]

各委員会

2. 運営委員会

2025年度の事業計画に基づき、委員会を6回、関西電力送配電(株)(工務・系統運用)・関西電力(株)調達本部との懇談会を2回、関西電力送配電(株)電力システム技術センターと大阪北本部との懇談会をそれぞれ1回開催した。なお、関西電力送配電(株)が進めている「カイゼン活動」についての意見交換を目的とした、変電 Gおよび系統運用 Gとの臨時懇談会も1回開催した。また、関西電力(株)水力事業本部運営 Gとの懇談会も1回、会員との懇談会も計画通り開催した。

① 運営委員会での検討内容

- a. 「2024年度変電・制御工事報告」や「土日祝日稼働実態調査」データから工事量平滑化は改善傾向にあるが、2025年度はこれまでにない大幅な新規受注の増加があり、引き続き取り組みを進める。
- b. 「現場監督者、技術社員、専属電工要員調査報告」結果に加えて、変電・制御部門においても関西電力送配電(株)が施工力減少の実態把握について検証を進めており、協働し進めている。
- c. 功労者表彰の審査等
申告書の提出があった電気保安功労者表彰 中部近畿産業保安監督部近畿支部長表彰2社4名、関西電気安全委員会委員長表彰2社8名ならびに発変電工事関係功労者表彰2社3名の対象者について、審査を実施した。

② 運営委員会と関西電力送配電(株)・関西電力(株)との懇談会等

- a. 関西電力送配電(株)(工務・系統運用)・関西電力(株)調達本部との懇談会(上期)

- 1) 日時: 2025年7月7日(月) 15時00分~17時00分
関西電力(株)本店26階中給 PR室
- 2) 出席者
関西電力送配電(株)
工務部 変電 G 安喰 CM他 7名
系統運用部 系統運用 G 大澤 CM他 2名
電力システム技術センター 変電 G (Web参加)
関西電力(株)
調達本部 流通設備工事契約 G 今中 CM 他3名

発変電技術研究会 平澤運営委員長 他10名

(前半のカイゼン説明では Webにて会員も参加)

- 3) 内容：運営委員会からは、2024年度工事稼働実績報告、2025年度要員調査結果報告などを踏まえて発変電技術研究会の現状抱えている課題と、それに対する要望事項について意見交換した。特に、現場管理費の適正化、配電用変圧器産廃処理方法の統一、C級現場監督者認定試験の制御認定への適用拡大について依頼し意見交換した。関西電力送配電(株)からは、カイゼンの取組に関して6.6kVキュービクル取替工事や77kV遮断器取替工事関連他の説明があり、意見交換を実施、キュービクル取替およびANDPADのフォルダ階層統一については後日のアンケート調査への協力依頼があった。

b. 関西電力送配電(株)(工務・系統運用)・関西電力(株) 調達本部との懇談会(下期)

- 1) 日時：2026年2月18日(水) 13時10分～15時10分
関西電力(株)本店 26階 中給PR室
- 2) 出席者
関西電力送配電(株)
工務部 変電G 安喰 CM他
系統運用部 系統運用G 大澤 CM他
関西電力(株) 調達本部 流通設備工事契約G
発変電技術研究会 平澤委員長他 11名
- 3) 内容：運営委員会からは、2025年度上期稼働状況とこれまでの要望事項に対する、現在の進捗とそれに対する要望について説明した。特に現場管理費に含まれる法定福利費の別建て契約とそれに伴い見直しが必要となる現場管理費率の再検討について要望した。関西電力送配電(株)からは協力会社満足度アンケート調査結果の報告のほか、変電・制御・給電部門の組織再編について説明を受けた。調達本部からは試行結果を踏まえた最低制限価格入札制度の本格実施に向けた制度設計について説明を受け、意見交換した。

c. 関西電力(株)水力事業本部 運営Gとの懇談会

- 1) 日時：2026年3月18日(水) 15時00分～17時30分
本店 5階 518号会議室
- 2) 出席者
関西電力(株)
水力事業本部 運営G 山本 CM他2名
発変電技術研究会 平澤運営委員長他8名
- 3) 内容：運営委員会からは、2025年度上期稼働状況と上・下期懇談会で関西電力送配電(株)へ要望した事項に対する現在の進捗と評価について情報共有した。水力事業本部運営Gからは今年の7月に行われる組織改正や水力工事全般のサプライチェーンに関する課題と対応状況、現場作業の効率化や環境改善に対する取り組みについて説明を受け、意見交換した。

d. 関西電力送配電(株)(工務・系統運用)との臨時懇談会「カイゼン説明会」

- 1) 日時：2025年9月5日(金) 15時00分～16時10分
関西電力(株)本店 518号会議室(台風接近のため Web会議で実施)
- 2) 出席者

関西電力送配電(株)

工務部 工務G 中村 変電G 中尾 L他3名

系統運用部 系統運用G 大平

電力システム技術センター 変電G 初崎課長他2名

発変電技術研究会 平澤運営委員長他7名

- 3) 内容：7月7日の6.6kV キュービクル取替のカイゼンに対する発変電技術研究会からの質問・意見への回答および、「77kV断路器操作箱取替工事のカイゼン」の取組みについての説明と意見交換を行った。断路器操作箱の取替についてはアンケート調査への協力依頼があった。

e. 関西電力(株) 調達本部とのヒアリング

- 1) 日時：2025年7月25日(金) 13時30分～14時30分
フェスティバルタワー 23階 調達本部会議室
- 2) 出席者
関西電力(株)
調達本部 流通設備工事契約G 今中専任部長 他3名
発変電技術研究会 平澤運営委員長他 5名(Web会議参加あり)
- 3) 内容：取引先からの意見に対する調達本部の取組状況全般に関する説明会として開催され、設計単価の見直し他の成果が二次請負まで浸透しつつあるかの確認をしたいとの協力要請があった。

f. 関西電力送配電(株) 電力システム技術センターとの懇談会

- 1) 日時：2025年8月4日(月) 15時00分～17時00分
関西電力送配電(株) 電力システム技術センター別館会議室
- 2) 出席者
関西電力送配電(株) 電力システム技術センター
変電G 衛藤副長他4名、制御G 亀井副長他1名
発変電技術研究会 平澤委員長他9名
- 3) 内容：運営委員会からは、本店との懇談会で要望した2024年度稼働状況、2025年度現場監督者、技術社員・専属電工要員調査結果などを踏まえた発変電技術研究会の現状抱えている課題と要望事項について意見交換した。また夏季の熱中症対策に対する工程設定の考え方などについて意見交換した。

g. 関西電力送配電(株) 大阪北本部との懇談会

- 1) 日時：2025年8月21日(木) 15時00分～17時00分
関西電力送配電(株) 大阪北本部7階会議室
- 2) 出席者
関西電力送配電(株)
大阪北本部 電気G 中川 L他3名 制御G 大迫 L他1名
野江電力所 宮本係長、西口係長他2名
小曾根電力所 大槻係長、奥田係長他2名
発変電技術研究会 平澤委員長他7名
- 3) 内容：運営委員会からは、本店との懇談会で要望した2024年度稼働状況、2025年度現場監督者、技術社員・専属電工要員調査結果などを踏まえた発変電技術研究会の現状抱えている課題と要望事項について意見交換した。また夏季の熱中症対策に対する工程設定の考え方などについて意見交換した。

h. 運営委員会、関西電力送配電(株)工務部・系統運用部、並びに関西電力(株)水力事業本部からの受信文書一覧

- 1) 「水力電気工事業務要綱指針(電気工事標準仕様書)」の一部改正について(組織改正に伴う様式番号の修正他の改正)(関西電力(株)水力事業本部 運営 GCM名 2025.7.1発信)
- 2) 「協会社満足度調査アンケート」の協力依頼について
関西電力送配電(株)の各種取り組みに対する満足度についてのアンケート調査へ協力依頼(関西電力送配電(株) 変電 GCM 名 2025.7.25発信)
- 3) 「変電・制御工事業務要綱指針(電気工事標準仕様書)」の一部暫定改正について
(現場工事における制御ケーブル切替業務のカイゼン(机上業務)の結果展開に伴う暫定改正)(関西電力送配電(株)変電 GCM 系統運用 GCM名 2025.8.5発信)
- 4) 「関西電力送配電の行為規制について～送電・変電・制御～」の資料配布依頼について(情報の取扱いに関する行為規制の理解向上に向けた資料配布)(関西電力送配電(株)変電 GCM 系統運用 GCM名 2025.9.19発信)
- 5) 「変電・制御工事業務要綱指針(電気工事標準仕様書)」の一部暫定運用について
(西京都 PCB未分析機器誤搬出事象の再発防止反映に伴う改正)(関西電力送配電(株)変電 GCM 系統運用 GCM名 2025.10.21発信)
- 6) 「変電・制御工事業務要綱指針(電気工事標準仕様書)」の改正について
(現場工事における制御ケーブル切替業務のカイゼン(机上業務)の展開、平野空気配管撤去に伴う災害再発防止の反映他に伴う改正)(関西電力送配電(株)変電 GCM 系統運用 GCM名 2025.12.9発信)
- 7) 「流通設備保全管理システム再構築に伴う運用見直し」について
(流通設備保全管理システム→送変電設備保全管理システムへの名称変更)(関西電力送配電(株)変電 GCM 系統運用 GCM名 2025.12.25発信)
- 8) 「小曾根電力所 事業所移転のお知らせ」について
(2026.4.1からの小曾根電力所移転に伴う周知)
(関西電力送配電(株)変電 GCM名 2026.3.19発信)

③ 運営委員会と会員との懇談会

- a. 日時：2025年7月23日(水) 15 時00分～16 時45分
大阪府電気工事技術会館6階講堂
- b. 出席者：平澤運営委員長他6名 会員会社20社 28名
- c. 内容：運営委員会から2025年度上期の本店との懇談会の概要報告を実施した。意見交換では、主に最低制限価格入札制度の試行や、今後、試行が予定されている予報発注についての意見交換を行い、最低制限入札制度の拡大や双方にメリットのある予報発注制度にすべきとの意見が出された。

3. 技術・教育委員会

2025年度の事業計画にもとづき、部会を5回開催した。技術研修会、施設見学研修会、技術講演会を計画どおり実施した。

3-1 技術部会

① 技術講演会について

テーマ：「変電部門のDX推進の現状と今後の展開について」
講師：安喰 誠さま 関西電力送配電(株) 変電GCM
実施日：2025年7月23日(水) 13:30～15:00
場所：大阪府電気工事技術会館6階講堂
参加：40名(21社)

② 施設見学研修会について

実施日：2025年6月20日(金) 21日(土)
場所：明石海峡大橋塔頂体験ブリッジワールド他
参加：20名(15社)
概要：明石海峡大橋の主塔に塔頂し、明石海峡大橋のスケールの大きさに圧倒される一方で、新たな知識、知見を習得でき、有意義な見学会となった。

③ 技術提案の活性化と提案事例等の情報提供について

2025年度は、下記1件の努力賞提案があった。
(所属会社：50音順、敬称略)
・件名「トラック荷台昇降用梯子の製作」
提案者 安松谷 直司 (株)安松谷組

④ 会員各社の教育ニーズ調査について

発変電工事に係る会員各社の教育ニーズ調査(年1回)および研修終了後に受講生アンケートを実施し、調査結果を次年度の教育計画に反映した。

3-2 教育部会

① 技術研修会について

関西電力送配電(株)の協力を得て、下記の技術研修を関西電力(株)Gアカデミー茨木研修センター等にて実施した。

- a. 「シーケンス読解研修」
講師：関西電力送配電(株) 工務部工務研修センター 講師
実施日：第1回：2025年6月28日(土)
第2回：2025年7月4日(金)
参加者：会員各社26名(14社)
- b. 「制御ケーブル接続の基礎・実践研修」
講師：関西電力送配電(株) 工務部工務研修センター 講師
実施日：2025年8月4日(月)～5日(火)
参加者：会員各社20名(7社)
- c. 「変電工事竣工検査研修」
講師：関西電力送配電(株) 工務部工務研修センター 講師
実施日：2025年6月14日(土)
参加者：会員各社6名(4社)
- d. 「77kVLS調整研修」
講師：関西電力送配電(株) 工務部工務研修センター 講師
実施日：2025年9月27日(土) (午前、午後2回に分けて開催)
参加者：会員各社7名(4社)
- e. 「変電工事C級認定に関する研修」
講師：関西電力送配電(株) 工務部工務研修センター 講師

実施日: 2025年12月13日(土)

参加者: 会員各社11名(5社)

f. 「工事監督者基礎研修」

講師: 関西電力送配電(株) 工務部工務研修センター 講師

実施日: 2025年11月15日(土)

参加者: 会員各社6名(6社)

g. 「光およびLANケーブル取扱に関する研修」

講師: 関西電力送配電(株) 系統運用部系統運用研修センター 講師

実施日: 2025年6月7日(土)

参加者: 会員各社8名(7社)

h. 「工事設計に関する基礎研修」

講師: 発変電技術研究会 技術教育委員会

場所: (株)かんでんエンジニアリング内

実施日: 2026年1月17日(土)

参加者: 会員各社9名(6社)

i. 「安全技術体感研修」

講師: (株)かんでんエンジニアリング 講師

実施日: 2025年9月6日(土)

場所: (株)かんでんエンジニアリング 安全・技術研修館

参加者: 会員各社9名(6社)

② 安全教育について

a. 「職長・安全衛生責任者教育(リスクアセスメント教育含む)」
(三団体共催)

実施日: 2026年2月9日(月)～10日(火)

場所: 関西電力(株) Gアカデミー茨木研修センター

参加者: 会員各社 8名(3社)

③ 合同研修(変電・制御・水力)への参加について

関西電力送配電(株)、関西電力(株)の主催で実施された下記研修に、安全や品質に関する知恵を互いに出し合える環境づくりと双方向のコミュニケーション充実に向けた取り組みの一環として、スポット参加した。

a. 「変電ルーキーフォロー研修(集合研修: 工務研修センター)」

実施日: 2026年3月4日(水)

参加者: 16名(7社)

b. 「作業責任者・当直長研修(集合参加: 工務研修センター)」

実施日: 2026年3月9日(月)～10日(火)

参加者: 3名(3社)

c. 「500kV制御回路(応用)研修(Web研修)」

実施日: 2025年11月21日(金)

参加者: 2名(2社)

d. 「LAN型監視制御システム保全(応用)研修(Web研修)」

実施日: 2025年12月5日(月)

参加者: 3名(2社)

e. 「制御システムテレコン(専門)研修 第1回(集合研修: 系統運用研修センター)」

実施日: 2025年8月20日(水)

参加者: 6名(1社)

f. 「水力ステップアップ(応用)研修(集合研修: 茨木研修センター)」

実施日: 2026年3月2日(月)～4日(水)

参加者: 4名(1社)

④ 研修に関する意見交換会(web会議)

実施日: 2026年2月4日(水)

出席者

関西電力(株)

水力事業本部 運営 G 成見担当

関西電力送配電(株)

工務部 工務研修センター 原田所長、中村副長、寺澤担当

系統運用部 系統運用研修センター 船越所長、

長坂副長、上水担当

発変電技術研究会 技術・教育委員会 森委員長、

増田副委員長、福井委員、安松谷委員、木村委員、森田委員

内容: 2025年度の研修結果および2026年度研修計画について意見交換を行った。2025年度に実施した研修(2025年度、新規に実施した「安全技術体感研修」含む)は概ね好評であったため、引き続き2026年度も実施することを確認した。

⑤ 関西電力送配電(株)品質協議会活動への参加について

2025年度は開催実績なし

4. 安全・広報委員会

4-1 安全部会

2025年度の事業計画にもとづき、部会を4回開催した。

① 関西電力(株)および関西電力送配電(株)の安全衛生推進活動との一層の連携強化について

- a. 関西電力送配電(株)変電制御部門主催の安全パトロールに以下の通り参加し、関係者にて現場実態を確認し、良かった点、気づいた点等、相方向の安全コミュニケーションが図られた。

【制御部門】

- ・実施なし

【変電部門】

- ・日程: 2026年3月12日(木)
- ・場所: 関西電力送配電(株) 姫島変電所(大阪北本部管内)
- ・対象工事
(件名) 姫島変電所6.6kV配開改良工事
(作業内容) 6.6kVキュービクル除却作業
(施工) 山口電気工事(株)
- ・参加者
関西電力送配電(株)
変電G 安喰CM、上田担当
系統運用G 中山M、大平担当
大阪北本部 電気G 西山CM、森田担当
発変電技術研究会 福山安全広報委員長
安全衛生メーカー協議会 代表幹事
(株)明電舎 内海氏、嶋氏
- ・結果: 安全パトロール指摘事項なし。

- b. 関西電力(株)水力電気部門主催の安全パトロールに以下の通り参加した。

- ・日程：2026年1月27日(火)
- ・場所：関西電力(株) 美濃川合発電所
- ・対象工事
(件名) 美濃川合発電所 1号水車発電機他修繕工事
(作業内容) 水車発電機分解手入れ、修理、消耗品取替作業
(施工) 株式会社かんでんエンジニアリング
- ・参加者
関西電力(株)
水力事業本部
運営G 山本 CM、藤田担当
水力エンジニアリングセンター 国内水力G 奥出総括課長
今渡水力センター 電気係 桑山係長、近藤担当、穴井担当
発電機技術研究会 福山安全広報委員長
安全衛生メーカー協議会 代表幹事
(株)明電舎 内海氏、嶋氏
- ・結果：安全パトロール指摘事項なし
気づき事項として、ケーシング内での転倒防止対策(良好事例)、溶接作業中の養生(上下作業中) や足場上での躓き・転倒防止等の意見があった。

② 現場安全コミュニケーションの実施について

- 幹事会社は(株)クスタニ、会員会社5社6名が参加した。
関西電力送配電(株)京都本部電気Gより村田L、三原工事担当、京都電力所変電係より中田係長、三崎監理者にも参加して頂いた。
- ・日時：2025年10月28日(火) 13時00分～15時00分
 - ・場所：関西電力送配電(株) 京都本部京都電力所勧進橋変電所
 - ・件名：勧進橋変電所6.6kV装甲開閉器他取替工事
 - ・施工会社：キューピクル据付(エネゲート)、電気工事(きんでん)
 - ・結果：キューピクル据付作業状況を確認し、良好事例1件(落ち着いた作業、声掛け)、気づき3件(開口部の養生対策、キューピクル重心位置の明示、キャスト付き台車使用時にストッパー未使用)があった。

③ 安全・衛生標語の募集と、ポスターの作成・配布について

安全・衛生標語を募集し、入選作のポスターを作成して会員に配布した。応募作品は20社165作品であり、その中から5作品を委員会として選出し、幹事会に付議の上、事務局案の通り決定した。(順不同、敬称略)

- ・小さな異変を見逃すな 習慣つけよう安全意識
(株)松野組 櫻井 裕城
- ・おかしいぞ 感じたときには一呼吸 その判断が仲間を守る
(株)かんでんエンジニアリング 香嶋 典子
- ・自分のために 仲間のために 定着させよう 自主検電！
(株)きんでん 谷口 達也
- ・「たぶん・だろう」はケガのもと 早めの気付き 早めのブレーキ
みんなで作ろう 安全職場
(株)かんでんエンジニアリング 杉浦 伸矢
- ・いつもと違う仲間の様子 一声かけて災害予防
(株)かんでんエンジニアリング 新田 達也

④ 安全衛生管理資料の配布について

関西電力送配電(株) 電気工事標準仕様書の改正、水力電気部門、および変電制御部門の「過去災害の再発防止対策の正しい理解と定着に向けた取り組みに関する教育の実施について」等、合計14件について、情報共有を図った。

⑤ 教育部会との協調

三団体共催の教育について、下記の通り参加があった。

・「職長・安全衛生責任者教育」

参加者：発電機技術研究会より3社8名(受講証明書発行)

⑥ 関西電力送配電(株)からの災害情報他について

災害速報(安全ステーション情報等)や災害防止対策等、合計11件について情報共有を図り、同種災害の未然防止に努めた。

⑦ 関西電力(株)安全文化圏推進会への参加について

・実施日：2026年3月13日(金) 14時30分～17時30分

・場所：関西電力(株)40階(4003会議室)

・参加者：発電機技術研究会 安全広報委員長、安全文化圏推進会メンバー

・内容

①2025年度 災害発生状況(特に協力会社にて2件の重篤災害発生)

②2026年度 関西電力安全健康活動方針

③講演(意見交換を含む)

・演題：『「ま(魔)さか!」ヒューマンエラーを防ぐには～エラーを起こす「3つの“魔”」、エラーを防ぐ「1つの“間”&リスクアセスメント」～』

・講師：林谷 英一氏(安全衛生大会教育講師・元 三菱電機安全衛生協力会事務局長)

⑧ 関西電力(株) 全社安全健康大会および水力電気および送配電部会への参加

a. 関西電力(株)全社安全健康大会

・実施日：2025年7月1日(火) 10時～12時

・場所：関西電力(株)40階(4003会議室)およびweb開催

・参加者：各社・各団体代表者ほか

発電機技術研究会 安全広報委員長

・講演：『飲酒ガイドライン』を踏まえた、職場での過剰飲酒対策
吉本 尚さま(筑波大学医学医療系地域総合診療医学准教授)

b. 水力電気部門安全健康大会

・実施日：2025年7月1日(火) 13時30分～15時30分

・場所：関電会館5・6号会議室 およびweb開催

・参加者：各社・各団体代表者ほか

発電機技術研究会 安全広報委員長

・講演：『ゆたかなコミュニケーションで災害を防ぐ』

佐々木 登さま 安全教育C代表取締役会長兼東京C長

c. 変電制御部門安全健康大会

・実施日：2025年7月1日(火) 13時30分～15時30分

・場所：関電本店ビル6階会議室

- ・参加者：各社・各団体代表者ほか
発変電技術研究会 安全広報副委員長
- ・講演：『ヒューマンエラー削減に向けた実践的な取り組み』
- ・講師：渋江 尚夫さま テイクオフ・パートナー代表

9 関西電力(株)水力電気部門及び関西電力送配電(株)変電制御部門安全衛生推進会への参加について

- a. 2025年度 第1回
- ・実施日：2025年4月24日(木) 13:30~16:30
 - ・場所：関西電力(株) 本店40階会議室
 - ・参加者：各部門安全推進会メンバー
 - ・内容
 - ①2024年度 災害発生状況他
 - ②2024年度各所活動報告および2025年度活動計画について
 - ③審議事項
安推会への意見要望事項、意見交換
電気工事標準仕様書に関する意見要望事項が多いため、水力電気品質協議会のテーマとして今年度取り組む等
- b. 2025年度 第2回
- ・実施日：2025年12月1日(月) 13時30分~16時
 - ・場所：関西電力(株) 本店 40階会議室
 - ・参加者：各部門安全推進会メンバー
 - ・内容
 - ①上期災害発生状況他
 - ②2025年度上期各所活動実績報告
 - ③審議事項
安全衛生推進会会則の改正(組織名称の変更、審議事項の見直し等安推会への意見要望事項、意見交換(過年度分の意見・要望のうち、1点切り断路器の据付調整に係る技術員派遣費用は、品質協議会等を活用しながら検討を進める等)
水力電気部門の仕様書の充実化やマニュアル整備などの課題については、引き続き関係部署と連携しながら、2026年度を目標に対策を進めていく方針。

10 重篤災害撲滅に向けた更なる安全対策への対応

以下に示す3項目の安全対策について、会員各位の意見を聴取するなどして現場実態を把握し、関西電力送配電(株)へ意見提示を行い、安全ルールの定着化に向けた活動を展開した。

- a. 変電所構内作業における「自主検電の義務化」への対応
- ・「自主検電の義務化」への対応として、自主検電の定着状況に関するアンケートを実施した。自主検電は、対象となる工事事件名中97%実施されており、各現場で感電災害防止対策として有効に機能していることを確認した。
 - ・今回のアンケート結果について、更なる自主検電の理解促進につなげていくため、特に自主検電の具体的な実施ケース等を会員各位に周知した。
 - ・一方で、「自主検電は定着している」との回答は、全体の約6割にとどまった。今後、定着・継続を図るためには、一歩踏み込んだ方策・仕掛けを講じるが必要であり、関西電力送配電(株)と協働で、定着に向けた取組を進めていくものとする。
- b. 活線近接警報器の導入への対応
- ・活線近接警報器については、関西電力送配電(株)の各電力所

に配備されており、必要に応じて協力会社への貸出しが可能となっている。

- ・今回実施した自主検電の定着状況に関するアンケートにおいても、「常時携帯・常時監視に近い形での運用」や「個別の検電動作ではなく、充電部近接時のアラーム的な使い方」といった意見が寄せられた。大きな課題と捉えられる意見は特に見られず、今後も状況に応じて適宜活用していくものとする。
- c. 現場へのクラウドカメラ導入への対応
- 関西電力送配電(株)変電 G より、協力会社が自主的に安全管理を行いやすい環境の整備(安全管理の支援)を目的として、2025年4月1日以降の件名からクラウドカメラを導入することが周知された。
- ・2025年10月に実施した現場安全コミュニケーションにおいても活用状況を確認したが、現時点では適用件数が少なく、「活用はこれからである」との意見が多く聞かれた。
 - ・今後は、安全管理の支援として安全パトロール等への活用も想定されることから、会員各位の活用事例を集約し水平展開を図るなど、積極的な活用につなげる取組を展開していくものとする。

11 三団体共催 安全衛生講習会の参加について

2025年度は、大阪地中線協会が幹事となり、開催の計画から実施までを担当して取り組んだ。2026年2月6日(金)に、中央電気倶楽部大ホールにおいて開催され、発変電技術研究会からは22社32名の参加であった。

- ・日時：2026年2月6日(金) 14時~17時
- ・場所：一般社団法人 中央電気倶楽部 5階 大ホール
- ・来賓：天満労働基準監督署長 伊地知 康殿
関西電力送配電(株)工務部送電GM 山本 隆喜殿
- ・講演：(株)コーポレート・エデュケーション
代表取締役 内海 賢殿
「リーダーのための世代間ギャップマネジメント」
-世代を越えた絆で企業文化を革新しよう-
- ・講話：株式会社かんでんエルハート 講師 岸本 尚子様
「正しい健康習慣」
- ・出席者：22社32名
- ・その他：参加できなかった会員には、講習会資料を講習会前日に、Box会員会社別連絡用フォルダに1ヶ月間の有効期限保存で対応した

4-2 広報部会

1 広報誌「発変電」およびパンフレットの発刊・送付

- a. 広報誌(2025年6月号)の発刊・送付
- ・発行部数：300部
 - ・配布先：会員会社、関西電力(株)および関西電力送配電(株)本店・各水力G、各本部・電力所、関西圏内の工業高校59校他電力団体(東京、中部、東北)
- b. 業界(発変電技術研究会)PR用パンフレット(初版)の作成・発刊・送付
- 関西電力送配電(株)管内の変電所電気工事について、関西地域の工業高校等新卒者を対象としたパンフレットを作成し、広報誌と併せて当該箇所へ送付した。
- ・発行部数：200部

- ・配布先：会員会社、関西電力(株)および関西電力送配電(株)本店(変電G、系統運用G、研修C)、関西圏内の工業高校59校、他電力団体(東京、中部、東北)

「発変電」への投稿、情報やご意見等がありましたら、遠慮なく下記の安全広報委員へご連絡下さい。

② ホームページについて

- ・会員各位への情報提供ツールとして活用し、安全標語、会員名簿、緊急連絡先等タイムリーな掲載対応が図れた。
- ・今年度は定期メンテナンスとして、事業方針および活動内容の変更、広報誌の新規登録等を実施した。
- ・情報セキュリティの観点から、定期的(1年周期)にIDパスワードを変更した。(毎年4月の第一営業日)

5. 文化 部

第87回ゴルフ部会を2025年10月25日(土)朝日野カントリー倶楽部にて開催(参加会社16社+事務局、総員27名)し、会員相互の親睦を図った。第87回大会 優勝 愛工大興

6. 令和8年 三団体共催賀詞交歓会

- ・日 時:2026年1月13日(火) 17時30分~19時00分
- ・場 所:ホテル阪急インターナショナル 6F 瑞鳥(ずいちょう)
- ・出席者:近畿経済産業局、関西電力送配電(株)、関西電力(株)からの来賓を含め285名出席、当会から46名(19社)が出席した。

7. 会 計 監 査

2025年度会計収支中間(上期)監査を2025年11月26日(水)、2025年度会計収支決算(下期)監査を2026年4月8日(水)に実施した。

8. そ の 他

① 2025年度中の会員会社異動

- 入会会員会社: なし
- 退会会員会社: なし

② 2026年4月1日現在の会員会社数

29社

③ 会員の異動

- ・発変電技術研究会の轟木 克彦副会長(株式会社きんでん)が退任され、中山 竜一氏(株式会社きんでん)が就任されました。
- ・安全・広報委員会の谷口 達也委員長(株式会社きんでん)が退任され、福山 照弘氏(株式会社きんでん)が就任されました。
- ・安全・広報委員会の八鍬 正男委員(株式会社かんでんエンジニアリング)が退任され、池野 清志氏(株式会社かんでんエンジニアリング)が、また、辻元 義弘委員(長尾電工株式会社)が退任され、掛村 真氏(長尾電工株式会社)が、それぞれ就任されました。退任の方々の長年のご尽力に対しまして、心から感謝申し上げます。

社 名	氏 名	連 絡 先
株式会社きんでん	福山 照弘	06-6375-6198
株式会社かんでんエンジニアリング	池野 清志	06-6448-5784
株式会社きんでん	鰻原 恵介	06-6375-6308
株式会社クスタニ	楠谷 匡朗	06-6366-0707
栗原工業株式会社	前田 栄造	06-4709-2353
大阪工営株式会社	井田 利紀	06-6969-7815
長尾電工株式会社	掛村 真	077-546-1364
株式会社松野組	鈴木 康嗣	078-351-0981
事務局	小谷 栄治	06-6374-0055

発変電技術研究会 会員名簿

2026年5月13日現在

	会社名	所在地・連絡先メールアドレス	担当者	TEL./FAX.
1	株式会社 愛工大興 関西支店	534-0015 大阪市都島区善源寺町 1 丁目 5 番 34 号 yu.katou@ai-taikoh.co.jp	工事グループ 部長 加藤 勇二	TEL. 06-6928-2251 FAX. 06-6928-2254
2	赤阪電気工業 株式会社	546-0011 大阪市東住吉区針中野 4 丁目 7 番 9 号 akasaka@zeus.eonet.ne.jp	代表取締役 福井 優	TEL. 06-6704-4888 FAX. 06-6704-3290
3	石山電設 株式会社	576-0052 大阪府交野市私部 7 丁目 47 番 5 号 ishiyama@ishiyama-EE.co.jp	代表取締役 石山 宗典	TEL. 080-5165-1480
4	伊藤電気工業 株式会社	626-0053 京都府宮津市中津 693-1 ryo-masuda@itodenki-kk.co.jp	代表取締役 増田 僚太	TEL. 0772-22-1102 FAX. 0772-22-5967
5	大阪工営 株式会社	536-0023 大阪市城東区東中浜 5 丁目 9-7 t-ida@oosaka-kouei.co.jp	取締役 大阪営業所 所長 井田 利紀	TEL. 06-6969-7815 FAX. 06-6969-7814
6	岡上興業 株式会社	671-1155 姫路市広畑区大町 1 丁目 32 番地 info@okaue.jp	代表取締役 岡上 朗	TEL. 079-236-7766 FAX. 079-237-7712
7	株式会社 かんでん エンジニアリング	530-6691 大阪市北区中之島 6 丁目 2 番 27 号 (中之島センタービル 22 階) h-mori@kanden-eng.co.jp ak-yoshimura@kanden-eng.co.jp ta-satou@kanden-eng.co.jp k-ikeno@kanden-eng.co.jp	変電工事部長 森 英二 変電工事部技術営業 GM 吉村 昭弘 電力統括部長 佐藤 正 水力工事部技術営業 GM 池野 清志	TEL. 06-6448-5741 FAX. 06-6448-5776
		601-8115 京都市南区上鳥羽尻切町 5 番地 2 号 shig-morita@kanden-eng.co.jp	京都支店電力 GM 森田 茂	TEL. 075-671-2175 FAX. 075-671-2831
		566-0055 大阪府摂津市新在家 2 丁目 24 番 1 号 h-itatani@kanden-eng.co.jp	制御工事部技術営業 G 板谷 晴弘	TEL. 06-7507-1851 FAX. 06-7507-1871
8	紀南電設 株式会社	644-0012 和歌山県御坊市湯川町小松原字瀬崎坪 613 番地の 2 denryoku@kinandensetsu.co.jp	電力課 営業課長 山田 直哉	TEL. 0738-22-8211 FAX. 0738-22-8214
9	木村電工 株式会社	520-0003 天津市あかね町 1 番 3 号 t-kimura@kimuradenko.co.jp	代表取締役 木村 禎	TEL. 077-522-5673 FAX. 077-523-3360
10	株式会社 協信電工	656-0101 兵庫県洲本市納 211-1 junji_mukaiyama@kyosindenkenko.co.jp	代表取締役 向山 順二	TEL. 0799-22-5277 FAX. 0799-22-8812
11	株式会社 きんでん	531-8550 大阪市北区本庄東 2 丁目 3 番 41 号 fukuyama_akihiro@kinden.co.jp ebihara_keisuke@kinden.co.jp	電力工事部 課長 福山 照弘	TEL. 06-6375-6198 FAX. 06-6375-6366
			電力工事部 鰐原 恵介	TEL. 06-6375-6308 FAX. 06-6375-6366
12	株式会社 クスタニ	530-0054 大阪市北区南森町 2 丁目 4 番 3 号 masaaki-k@kusutani.co.jp	代表取締役 楠谷 匡朗	TEL. 06-6366-0707 FAX. 06-6366-0708
13	久世電気工業 株式会社	620-0913 福知山市字牧 1340 番地の 5 j-kuse@kuse-dk.com	代表取締役 久世 純也	TEL. 0773-33-3762 FAX. 0773-33-3764
14	栗原工業 株式会社	530-0054 大阪市北区南森町 1 丁目 4 番 24 号 maeda_eizo@kurihara.co.jp	工務部 部長 前田 栄造	TEL. 070-8692-7585 FAX. 06-4709-2459

発変電技術研究会 会員名簿

2026年5月13日現在

	会社名	所在地・連絡先メールアドレス	担当者	TEL./FAX.
15	合同電気工事 株式会社	630-8292 奈良市中御門町 20 kitauchi.yasunori@gododenki.com	代表取締役 北内 保式	TEL. 0742-22-4135 FAX. 0742-22-4255
16	興陽電気 株式会社	557-0043 大阪市西成区玉出東 1 丁目 11 番 6 号 t-inoue@koyodenki.com	代表取締役 井上 智広	TEL. 06-6653-1001 FAX. 06-6653-1005
17	株式会社 サンテック大阪支社	531-0071 大阪市北区中津 1 丁目 7 番 8 号 (中津 178 ビル) masayuki-kojima@suntec-sec.co.jp	執行役員 電力本部 関西地区担当支配人 小嶋 雅之	TEL. 06-6372-1664 FAX. 06-6372-0041
18	株式会社 シーテック	459-8014 名古屋市緑区忠治山 101 番地 m.kagiya@ctechcorp.co.jp	電力本部営業部 営業第 2 グループ グループ長 鍵谷 学	TEL. 052-710-1129 FAX. 052-710-2640
19	住友電設 株式会社	550-8550 大阪市西区阿波座 2 丁目 1 番 4 号 hirazawa.osamu@sem.co.jp	電力本部産業システム部 変電システム部 理事 平澤 修	TEL. 06-6537-3690 FAX. 06-6537-3859
20	中央電設 株式会社	564-0054 吹田市芳野町 8 番 7 号 oku@cde.co.jp	本店 工事第三部 第二工事課 主任 奥 航	TEL. 06-6385-0377 FAX. 06-6385-0471
21	株式会社 田電工房	601-1433 京都市伏見区石田大山町 18 番地 rcd@kkdenden.com	代表取締役 木村 敬子	TEL. 075-571-2521 FAX. 075-573-1352
22	長尾電工 株式会社	520-2279 大津市黒津 1 丁目 1 番 45 号 kakemura.makoto@nagaodenko.co.jp	プロジェクトマネジメント グループ 部長 掛村 真	TEL. 077-546-1364 FAX. 077-546-3140
23	株式会社 松野組	650-0025 神戸市中央区相生町 4 丁目 5 番 2 号 k-suzuki@matsunogumi.com	取締役部長 鈴木 康嗣	TEL. 078-351-0981 FAX. 078-371-5911
24	萬代電機工業 株式会社	661-0981 尼崎市猪名寺 3 丁目 5 番 34 号 m_hamada@mandaidenki.co.jp	取締役・営業部部長 濱田 正敏	TEL. 06-6423-5560 FAX. 06-6423-5510
25	森電設 株式会社	577-0015 東大阪市長田 1 丁目 1 番 22 号 info@ec-mori.co.jp	代表取締役 鎌田 裕光	TEL. 06-7506-9267 FAX. 06-7506-9268
26	株式会社 安松谷組	556-0021 大阪市浪速区幸町 1 丁目 3 番 12 号 info@yasumatsuyagumi.co.jp	代表取締役社長 安松谷 直司	TEL. 06-4392-8787 FAX. 06-4392-1177
27	山口電気工業 株式会社	607-8471 京都市山科区北花山大峰町 49 番地の 13 s4007@yamaguti-denki.co.jp	代表取締役 山口 敏郎	TEL. 075-594-2225 FAX. 075-594-2240
28	山口電気工事 株式会社	660-0051 尼崎市東七松町 2 丁目 2 番 10 号 denryoku@yamaguchi-dk.com	代表取締役 山口 寛	TEL. 06-6481-7445 FAX. 06-6481-7444
29	大和電機工業 株式会社	636-0247 奈良県磯城郡田原本町阪手 654-2 yamato@yamatodnk.jp	取締役部長 杉村 延宏	TEL. 07443-2-4477 FAX. 07443-3-5432
	事務局	531-0074 大阪市北区本庄東 2 丁目 3 番 38 号 h-henden@sirius.ocn.ne.jp	事務局長 小谷 栄治	TEL. 06-6374-0055 FAX. 06-6374-3050

発変電技術研究会 役員名簿

賛助会員

2026年5月13日現在

関西電力送配電株式会社	〒530 - 8270 大阪市北区中之島 3-6-16	工務部 変電グループ チーフマネジャー
関西電力送配電株式会社	〒530 - 8270 大阪市北区中之島 3-6-16	系統運用部 系統運用グループ チーフマネジャー
関西電力株式会社	〒530 - 8270 大阪市北区中之島 3-6-16	水力事業本部 運営グループ チーフマネジャー

役員・幹事会

会長	米沢 比呂志	株式会社 かねでんエンジニアリング	幹事	安松谷 直司	株式会社 安松谷組
副会長	中山 竜一	株式会社 きんでん	幹事	山口 敏郎	山口電気工業株式会社
副会長	福井 優	赤阪電気工業株式会社	幹事	山口 寛	山口電気工事株式会社
幹事	森 英二	株式会社 かねでんエンジニアリング	会計監査	久世 純也	久世電気工業株式会社
幹事	木村 禎	木村電工株式会社	会計監査	増田 僚太	伊藤電気工業株式会社
幹事	福山 照弘	株式会社 きんでん	参与	安喰 誠	関西電力送配電株式会社
幹事	前田 栄造	栗原工業株式会社	参与	大澤 歩	関西電力送配電株式会社
幹事	小嶋 雅之	株式会社 サンテック	参与	山本 和生	関西電力株式会社
幹事	平澤 修	住友電設株式会社	事務局長	小谷 栄治	

委員会

運営委員会

委員長	平澤 修	住友電設株式会社	委員	吉村 昭弘	株式会社 かねでんエンジニアリング
副委員長	山口 寛	山口電気工事株式会社	委員	福山 照弘	株式会社 きんでん
委員	小嶋 雅之	株式会社 サンテック	委員	山口 敏郎	山口電気工業株式会社
委員	木村 禎	木村電工株式会社	委員	森 英二	株式会社 かねでんエンジニアリング
委員	板谷 晴弘	株式会社 かねでんエンジニアリング	委員	佐藤 正	株式会社 かねでんエンジニアリング

安全・広報委員会

委員長	福山 照弘	株式会社 きんでん	委員	掛村 真	長尾電工株式会社
副委員長	前田 栄造	栗原工業株式会社	委員	池野 清志	株式会社 かねでんエンジニアリング
委員	井田 利紀	大阪工営株式会社	委員	鰐原 恵介	株式会社 きんでん
委員	楠谷 匡朗	株式会社 クスタニ	委員	鈴木 康嗣	株式会社 松野組

技術・教育委員会

委員長	森 英二	株式会社 かねでんエンジニアリング	委員	木村 敬子	株式会社 田電工房
副委員長	増田 僚太	伊藤電気工業株式会社	委員	濱田 正敏	萬代電機工業株式会社
委員	久世 純也	久世電気工業株式会社	委員	福井 優	赤阪電気工業株式会社
委員	安松谷 直司	株式会社 安松谷組	委員	森田 茂	株式会社 かねでんエンジニアリング



発変電



発変電技術研究会 発行
<https://hatsuhenden.com/>